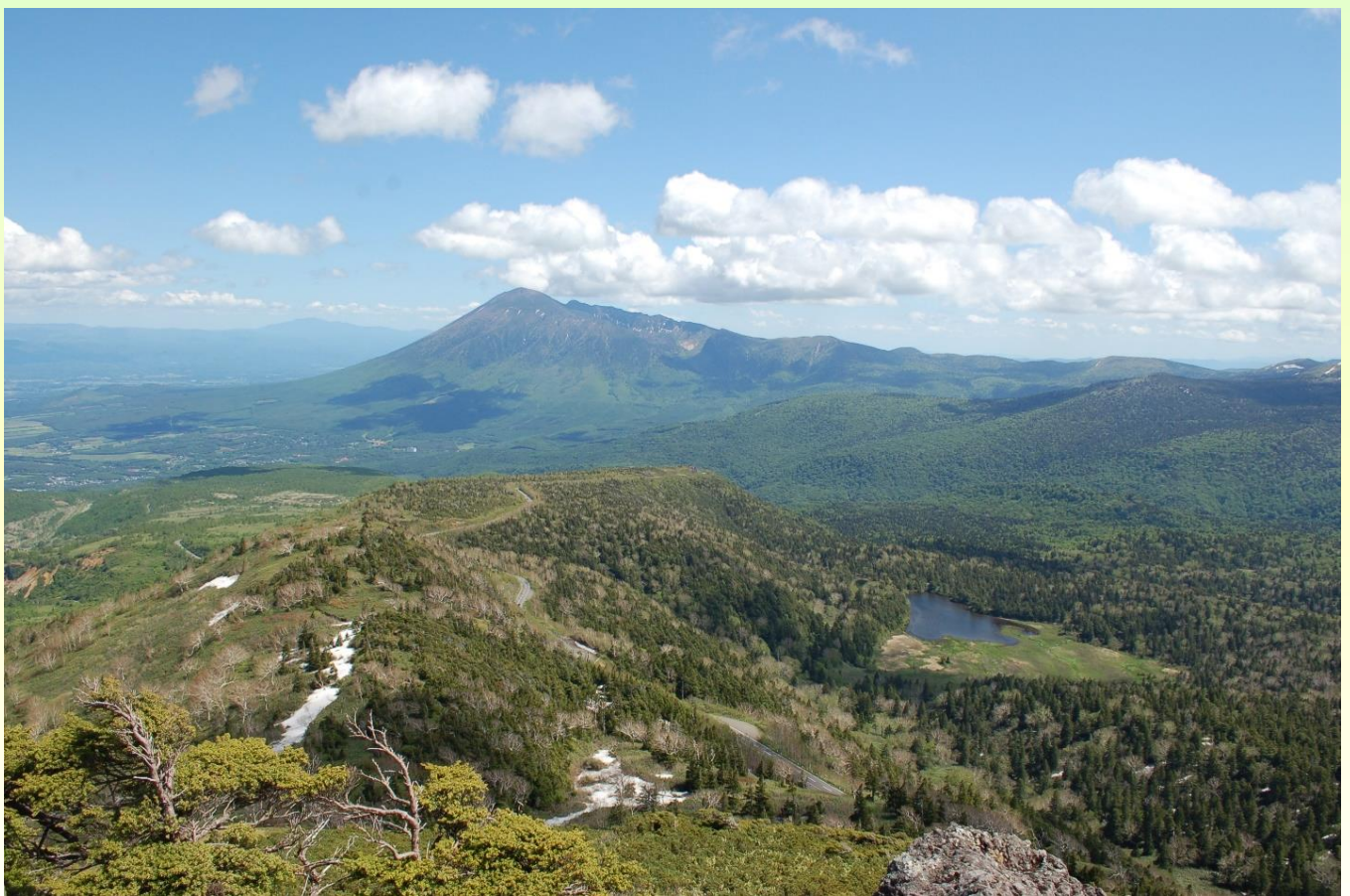


馬淵川上流流域の国有林

令和6年度 管内概要



岩手北部森林管理署

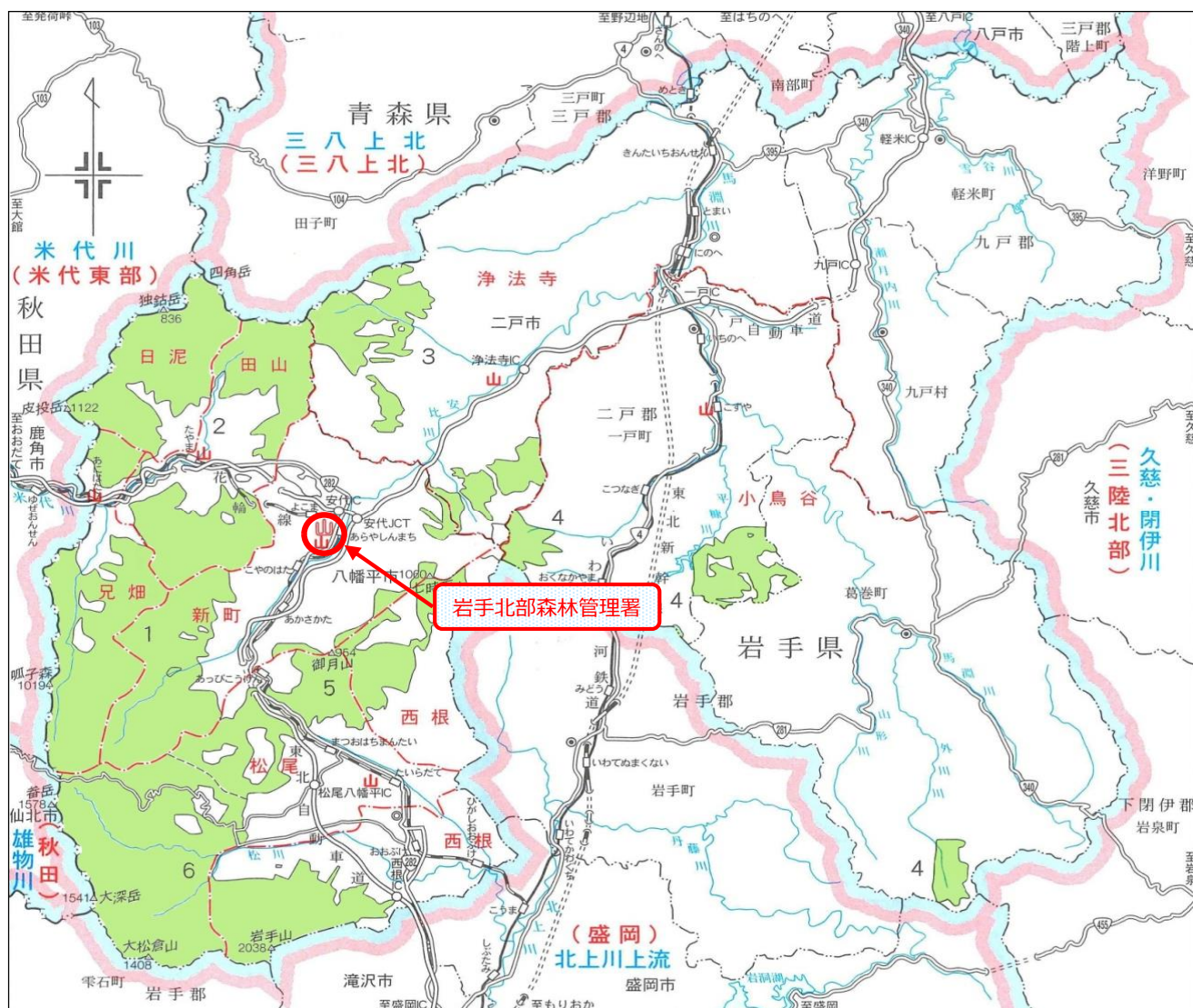
1. 森林現況

岩手北部森林管理署は岩手県北西部に位置し、馬淵川上流流域2市3町1村のうち、八幡平市、二戸市、一戸町及び葛巻町の2市2町にまたがる約53千haの国有林野を管理しています。

国有林は米代川、北上川、馬淵川の源流部に位置し、奥羽山脈を中心に秋田県・青森県と隣接する岩手県北西部が大半ですが、馬淵川の源流域の北上山地にも分布しています。

森林の現況は面積比率で人工林を中心とする育成林が41%（21千ha）、天然生林55%（25千ha）、人工林の主な樹種の蓄積比率は、スギ35%（1,848千m³）、カラマツ31%（1,626千m³）、アカマツ18%（925千m³）となっており、カラマツ及びアカマツ林分が比較的多い地域です。

山岳地帯はブナ類を主とする広葉樹林が大半を占め、その上部の八幡平一帯はアオモリトドマツ、コメツガ、ダケカンバ等の天然林となっています。



※緑色の箇所が国有林です。

2. 市町村別森林現況等

(単位: ha)

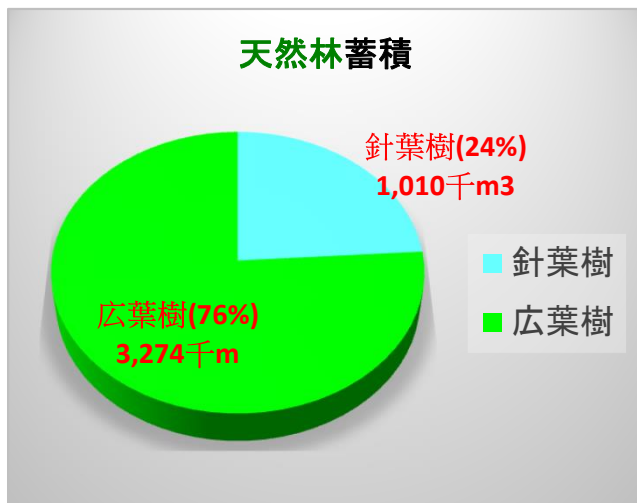
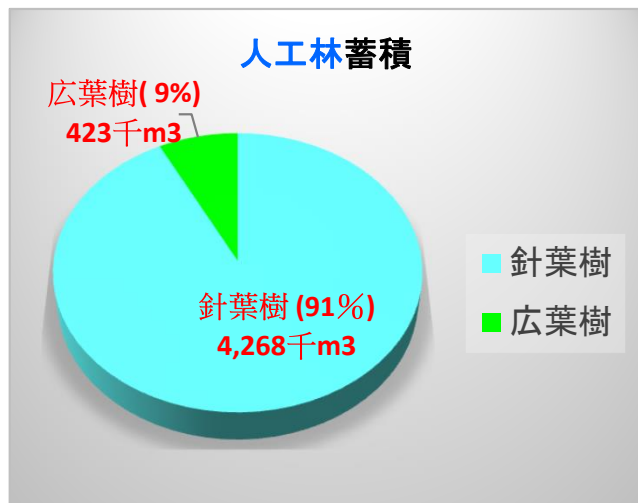
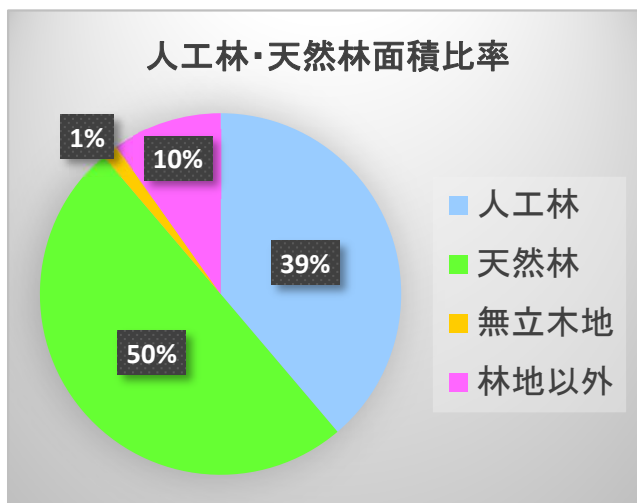
市町村名	総面積	森林面積 (ha)			森林率	市町村の木	市町村の花
		民有林	国有林	国有林の割合 (%)			
二戸市	42,042	26,858	4,318	14%	74%	ウルシ	ヤマザクラ
八幡平市	86,230	22,864	45,481	67%	79%	アカマツ	リンドウ
葛巻町	43,496	36,034	757	2%	85%	シラカバ	ハギ
軽米町	24,582	18,447	0	0%	75%	イチイ	コブシ
九戸村	13,402	9,930	0	0%	74%	アカマツ	ツツジ
一戸町	30,003	19,375	2,435	11%	73%	ナラ	サクラ
計	239,755	133,508	52,991	28%	78%		

※各市町村の総面積、民有林森林面積は、各市町村の森林整備計画書より抜粋。
 ※国有林森林面積は、「国有林野施業実施計画」の対象とする国有林野である。

3. 国有林の森林現況等

※第6次国有林野施業実施計画 森林調査簿関連帳票より。

区 分		面積 (ha)	蓄積 (m³)
林 地	人 工 林	20,417	4,691,004
	天 然 林	26,429	4,283,907
	竹 林	—	—
	無 立 木 地	777	446
	計	47,623	8,975,357
林地以外	附 帯 地	819	0
	貸 地	1,598	79
	雑 地	2,951	0
	計	5,368	79
合 計		52,991	8,975,436



4. 機能類型

国有林野の管理経営に当たっては、公益重視の管理経営を一層推進するため、個々の国有林野を重視すべき機能に応じて五つのタイプに区分し、それぞれの森林に応じた施業を実施します。



山地災害防止タイプ(面積:9,649ha)

土砂の流出・崩壊、山地災害による人命・家屋等の施設被害の防備、その他災害に強い国土の形成に係る機能を重点的に発揮すべき森林



自然維持タイプ(面積:11,913ha)

原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存等自然環境の保全を第一とする森林



森林空間利用タイプ(面積:6,831ha)

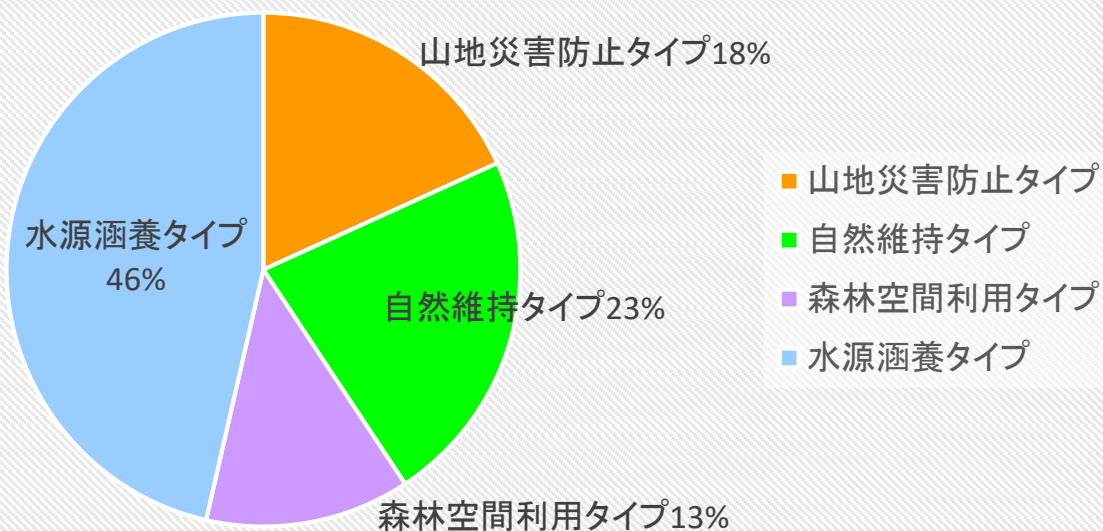
スポーツ又はレクリエーション、教育文化、休養等の活動の場及び優れた景観の提供に係る機能を重点的に発揮すべき森林



水源涵養タイプ(面積:24,597ha)

国民生活に欠かせない良質で豊かな水の供給に係る機能を重点的に発揮すべき森林

岩手北部森林管理署 機能類型区分割合



5. 公園・保安林等

管内の国有林には、各種法令に基づき保安林及び自然公園、鳥獣保護区などに指定されている区域があり、景観の保全、鳥獣保護等を図っています。

保安林

(単位: ha)

種類	水源かん養	土砂流出防備	土砂崩壊防備	なだれ防止	保 健	合 計
指定面積	34,983	2,271	148	34	※1 (7,846) 242	※2 37,678

※1 ()は、兼種保安林で内書き。

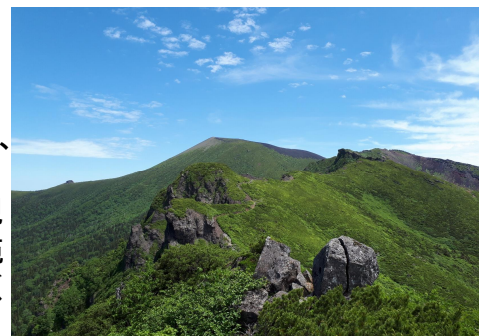
※2 「森林法」に基づいて、延べ37,678haの国有林が保安林に指定されています。

自然公園 『十和田八幡平国立公園』6,437ha



八幡平 (八幡沼)

岩手山から八幡平一帯は「十和田八幡平国立公園」に指定されており、森林景観に優れた森林レクリエーションの適地が多く、八幡平生物群集保護林や松川自然休養林など、登山や自然観察のほか、温泉やスキー場の施設など、保健休養の場として多くの人々に利用されています。



岩手山 (2,038 m)

レクリエーションの森

名 称		特 徴	面積 (ha)
自然休養林 (1箇所)	松川自然休養林	松川溪谷が流れ、点在する湖沼や温泉があり、様々な自然景観を有しています。	1,431
自然観察 教育林 (1箇所)	焼走り自然観察 教育林	十和田八幡平国立公園に接しており、焼走り溶岩流は天然記念物になっています。	241
野外スポーツ 地域 (5箇所)	藤七	 景観に優れ、スキー場等のスポーツ施設を有しています。	1,890
	安比前森山		
	大黒森		
	東八幡平		
	西岳		

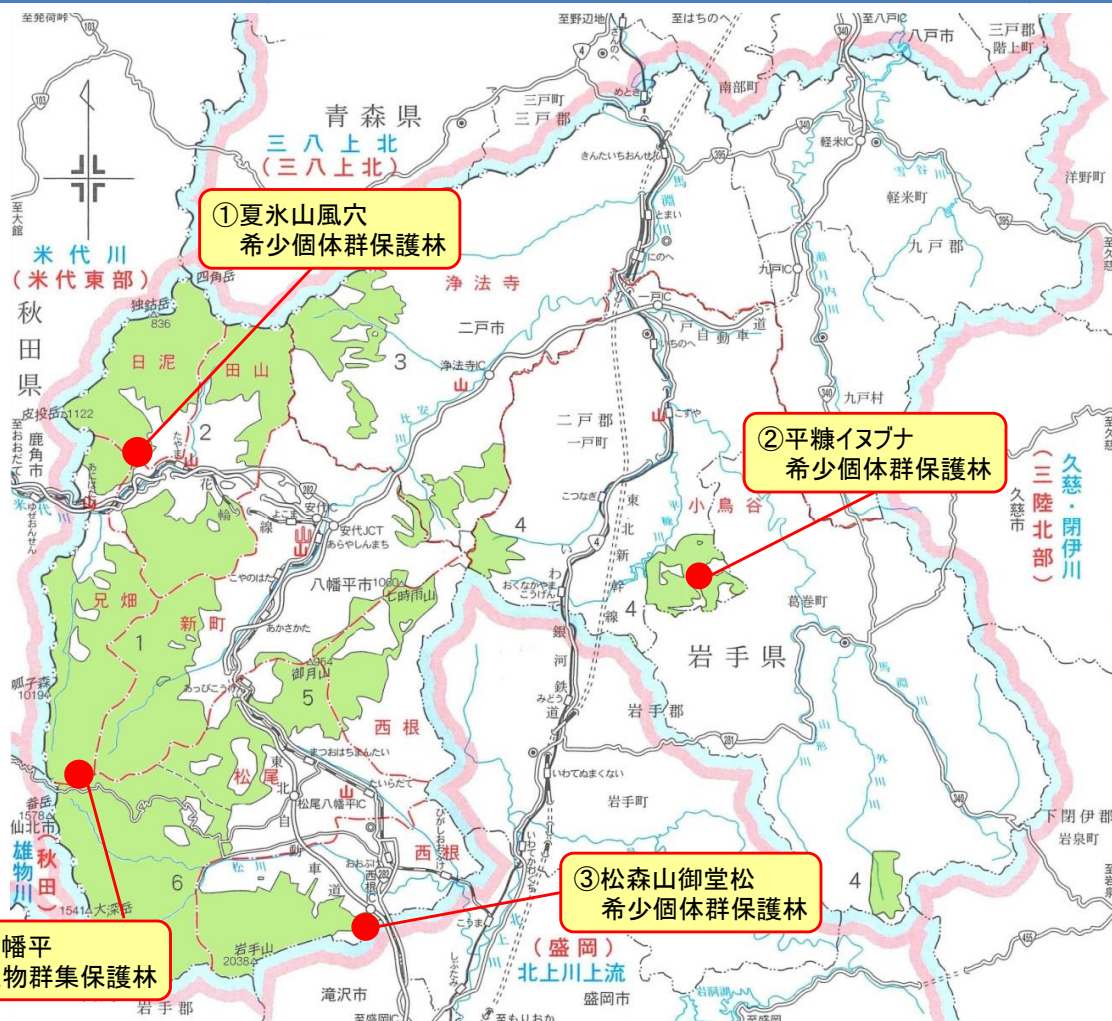
安比高原スキー場 (前森山 1,304m)

6. 保護林等の設定

国有林では、地域の特性に応じた多様な生態系を保全していくため貴重な野生動植物が生息・生育する森林などを保護林に指定し、その保護・保全に努めています。

管内では、4箇所6,435haの保護林を設定しています。

保護林名	特 徴	面積(ha)
夏氷山風穴 希少個体群保護林	八幡平市天狗森に位置し、石英粗面岩の柱状の岩層が堆積して冷風の通路となり、風穴を形成しており、希少な風穴植物等が見られる。	6.30
平糠イヌブナ 希少個体群保護林	一戸町平糠地区に位置し、イヌブナの天然生林の北限である。	55.06
松森山御堂松 希少個体群保護林	八幡平市の東北自動車道西根インターに近く、南部アカマツの系統をくみ、幹が通直、完満で筋が少なく、枝下高が高い特徴を持っている。	7.32
八幡平 生物群集保護林	八幡平を中心とした山岳地帯に位置し、山地帯から亜高山帯の典型的な垂直分布を示す天然林、高層湿原が散在し、希少な植物が見られる。	6,365.87



7. 森林・林業の普及啓発活動

当署では、地域の小学生等を対象とした体験学習や森林教室を開催するなど、森林の働きや木材を利用することの大切さを伝え、森林に対する理解と関心を高めるよう努めています。また、ボランティア活動や自然体験の森としてのフィールドを提供しています。



地元小学校の要請により森林教室を実施



森林散策 & 森林学習



ブナ二次林内での森林学習



安比高原で林業体験学習

ふれあいの森

森林整備のボランティア活動フィールドとして活用されています。

名 称	面 積	所 在
安比高原スキー場の森	21.50ha	八幡平市安比岳国有林

遊々の森

自然再生活動・森林環境教育のフィールドとして活用されています。

名 称	面 積	所 在
あっぱ高原遊々の森	182.29ha	八幡平市安比岳国有林
松尾鉱山跡地再生の森	120.07ha	八幡平市赤川山国有林

8. 森林の整備

森林育成・資源活用事業

木材を計画的に供給し、伐採を行った跡地には、スギ、カラマツ等を植栽します。また、下刈・除伐・間伐等の保育を適切に行い、健全な森林を育成します。

更 新			保 育		
地 拵	新 植	計	下 刈	除 伐	除伐Ⅱ類
127ha	129ha	256ha	419ha	92ha	0ha

保育間伐活用型	経常間伐	育 成 受光伐	天然林 受光伐	保護伐 (皆伐)	素材生産
680ha	27ha	0ha	0ha	2ha	45,000m ³



コンテナ大苗

下刈回数を少なくするため、スギ・カラマツのコンテナ大苗を植栽しています。



筋刈方法による下刈

下刈面積を少なくするとともに、省力化を図るため、植栽列間だけを刈り払う筋刈方法を導入。

収穫事業

一定の年齢になった森林の中から、計画的に選定し、収穫した後は確実に更新していきます。

<収穫量>

	面積(ha)	材積(m ³)
主 伐	142	66,410
間 伐	874	90,674
計	1,016	157,084

<立木販売量>

	面積(ha)	材積(m ³)
主 伐	130	48,274
間 伐	0	0
計	130	48,274

治山事業

山地災害を防止するための治山施設の整備や崩壊地の植生回復、保安林を整備し、地域の安全・安心を確保します。

工事(業務)名	工種等	数 量
根石	コンクリート谷止工	1基
北ノ又地区	集排水ボーリング工	436.9m
北ノ又地区	地すべり調査	1式
小金沢	実施設計	1式



土留工



コンクリート谷止工

林道事業

森林の整備・保全管理等を適切に行うため、路網を整備します。
工事の施工には、木材の活用や景観の配慮に努めます。

工事(業務)名	工種等	数 量
御月林道支線新設工事	林業専用道新設	580m
芦名沢林道新設工事	林業専用道新設	200m
芦名沢林道改良工事	コンクリート擁壁工	202m
武士ノ沢林道調査設計		500m



林業専用道



ボックスカルバート工

9. 署の沿革

〔安比川水系〕

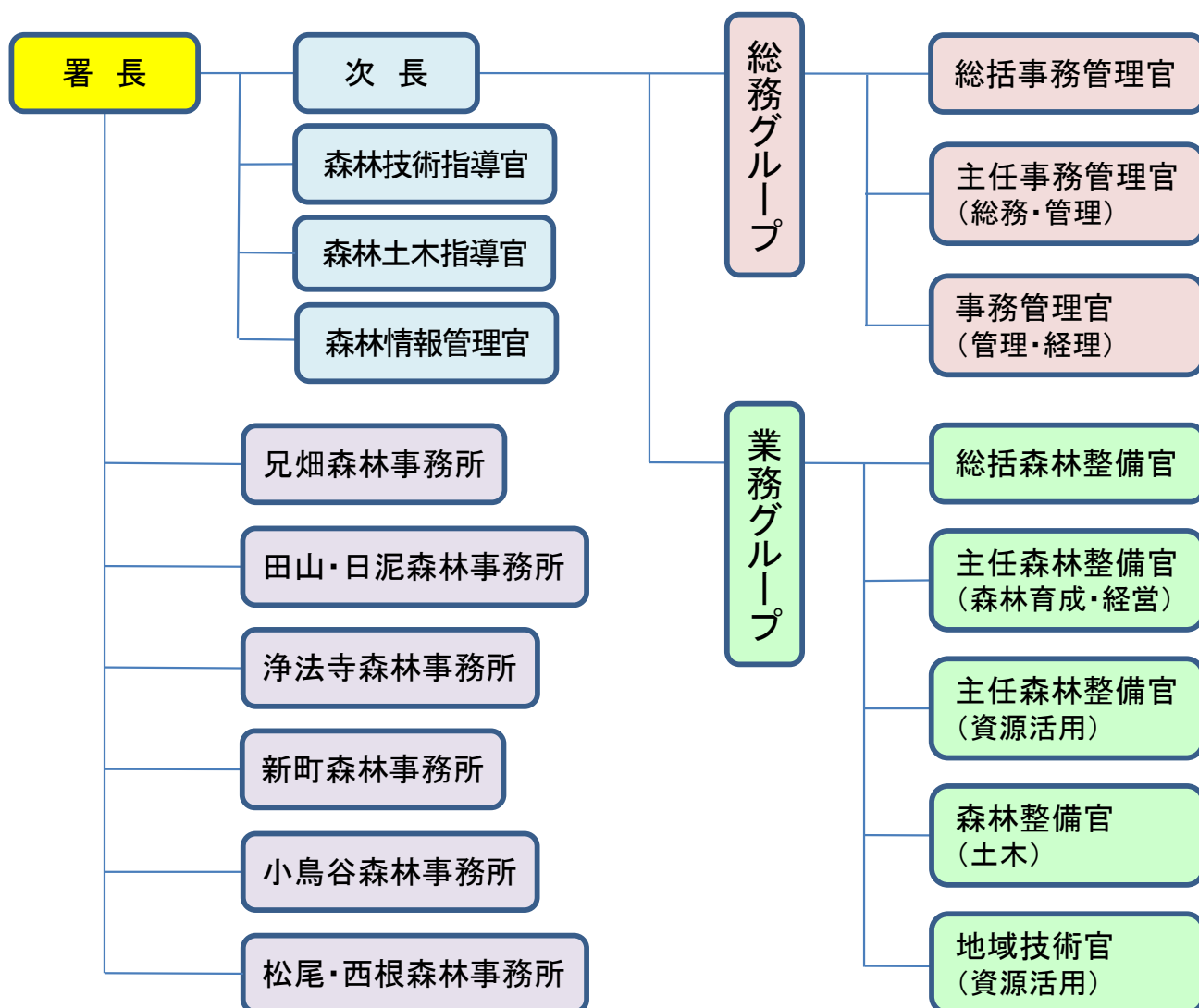
明治21年 3月	岩手大林区署	福岡派出所
明治22年 4月	岩手大林区署	田山小林区署
明治36年 12月	青森大林区署	田山小林区署
明治43年 10月	青森大林区署	新町小林区署
大正 3年 9月	青森大林区署	沼宮内小林区署
大正13年 12月	青森営林局	沼宮内営林署
昭和13年 8月	青森営林局	新町営林署
昭和23年 1月		
昭和54年 3月	青森営林局	安代営林署(営林署統廃合)
平成11年 3月	東北森林管理局	岩手北部森林管理署(改称)
平成23年 3月	東北森林管理局	岩手北部森林管理署

〔米代川水系〕

秋田大林区署	花輪小林区署
秋田営林局	花輪営林署
青森営林局	田山営林署

(松尾・西根担当区を管轄区域の整序により編入)

10. 組織図



11 アクセス



至 安比高原スキー・ゴルフ場
盛岡方面



国民の森林・国有林

岩手北部森林管理署

〒028-7534 岩手県八幡平市荒屋新町41-8

I P 050-3160-5895

TEL 0195-72-2221

FAX 0195-72-2300

メールアドレス: t.iwatehokubu@maff.go.jp